

	発行者の略号	東京書籍株式会社	大日本図書株式会社
	書名	新編 新しい保健	新版 たのしい保健
（ア） 教科・種目に共通な観点	①編修の趣旨と工夫	①教育基本法の理念をふまえ、保健における主体的・対話的で深い学びを実現し、生涯にわたって健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現する資質・能力の育成を目指して編修されている。	①教育基本法の理念をふまえ、保健における主体的・対話的で深い学びを実現し、生涯にわたって健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現する資質・能力の育成を目指して編修されている。
	（フ）教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	①基礎的・基本的な知識は本文で簡潔にまとめてあり、本文の中で特に大切な部分はゴシック体で表記され、必要な知識が明確になっている。技能を映像で確認できるデジタルコンテンツが用意されていて、確かな技能が習得できる配慮がされている。 ②各単元に学習の進め方「気づく・見つける」「調べる・解決する」「深める・伝える」「まとめる・生かす」の各ステップがあり、児童の思考を促す展開が工夫されている。各ステップに児童が考えを書くための記入スペースが豊富かつ適切な箇所に設けられている。児童が思考していくための資料が豊富にあり、自分の考えを表現しやすくなっている。 ③ステップ4「まとめる・生かす」では、学習をふまえて自分の生活を見直す活動などを設け、学習したことが実生活で生かせるようになっている。また、次の保健学習に意欲的に取り組めるような投げかけがある。	①単元のまとめには、◎・○・△を使って、学んだことを振り返ることができるようになっており、学んだ知識を確認できるようになっている。 ②各単元に「見つける」「考えてやってみる」「まとめる」「広げる・深める」の各ステップがある。 ③児童が自分の考えを書くスペースもあり、思考したり表現したりできるようになっている。単元扉に、簡単な運動やチャートが掲載されており、児童がゲームを行うことで自然と学習課題に気づき、意欲的に取り組めるようになっている。
	（イ）市町の方針との関連 ①小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	①概ね内容をふまえている。	①概ね内容をふまえている。 ①【5・6年】P35三の丸小学校の避難場所を示す看板の写真が掲載されている。
	（ウ）内容と構成 ○小学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ②他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③言語能力の確実な育成 ④伝統や文化に関する教育の充実 ⑤体験活動の充実 ⑥学校段階間の円滑な接続 ⑦情報活用能力の育成 ⑧児童の学習上の困難さに応じた工夫 ○児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	①学習の進め方が4つのステップになっており、児童が主体的・対話的で深い学びができるよう授業の流れが分かりやすくなっている。ステップ3では、「ほかの人の意見を聞いて考えたことや分かったこと」を書くスペースがあり、自分の考えを深めることができる。 ②章とびらの「つなげよう」に、その章と関連のある教科名、学年、単元名を示している。「資料」の中に養護教諭やスクールカウンセラー、学校医等が登場する場面があり、学校内外の人材の有効活用がされやすい。 ③「書く」「話し合う」「発表する」などの活動が複数取り入れられている。 ④日本の伝統文化的な遊びや運動、行事、地域の人々と触れあう場面や自分の地域について調べてみる活動が設けられている。 ⑤実験や実習ページがあり、「心の健康」「けがの防止」等の単元では、デジタルコンテンツを活用した体験活動を通して学ぶことができるようになっている。 ⑥最終ページには、中学校生活に向け、小学校の保健を振り返るデジタルコンテンツや自己評価欄が設けてある。 ⑦巻頭に「コンピューターを学習に生かそう」が設けられていて、活用の仕方や情報モラルを含めた留意点について学ぶことができる。コンピューターの使用と健康上の注意点などがデジタルコンテンツや資料で示されている。 ⑧文節改行で文章が読みやすいものになっている。 ○「解説」「まめちしき」などの記載がある。	①教科書全体で活動を通して、自分の課題を持って学習が進められるようになっている。 ②関連した教科がマークで示している。 ③「書く」「話し合う」「発表する」などの活動が複数取り入れられている。 ④第4学年では「成長を祝う行事」を紹介し、日本の伝統・文化についての資料を掲載している。第6学年の「ミニちしき」では、和食の由来について取り上げている。 ⑤「心の健康」では、心や体をリラックスする体験的な活動を促している。「実習」の項目では、ポイントが挿絵と言葉で分かりやすく説明されている。 ⑥最終ページには、第5学年の始めに立てた夢や目標を振り返るとともに、中学への夢や目標を考える記述欄がある。 ⑦各時間にデジタルコンテンツを豊富に用意し、分かりやすくマークを示している。 ⑧文節改行で文章が読みやすい。ページ番号やインデックスを単元のカラーで統一するなどの工夫がされている。 ○「ミニちしき」「もっと知りたい」で役立つ知識や発展内容の記載がある。
（エ）分量・装丁・表記等 ①各内容の分量とその配分は適切であるか。 ②体裁がよく、児童が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。 ③文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、児童が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	①概ね適切である。 ②A4判【3・4年】45ページ。【5・6年】77ページ。UD教科書体使用。カラーユニバーサルデザインをふまえた配色になっている。1項目4ページ構成。ステップ1「気づく・見つける」が奇数ページに配置されており、ステップ2以降の本文を読まずに、「まずは自分で考える」課題発見の活動に取り組みやすい構成になっている。ワークシートのように教科書に書き込みができる。 ③漢字は交ぜ書きをなくす配慮から、学習該当学年の1学年上の漢字もふりがな付きで使用。ステップ1「気づく・見つける」で、日常生活が想起でき、児童の興味・関心を引くようなダイナミックな写真やイラストが掲載されており、児童自らが学習課題を見付けやすくなっている。 ・描かれている人物に多様性があり、インクルーシブの視点が入っている。	①概ね適切である。 ②AB判【3・4年】45ページ。【5・6年】69ページ。UD教科書体使用。カラーユニバーサルデザインをふまえた配色になっている。 ③漢字は、原則的に学習指導要領に示されている配当学年より1学年遅らせて使用している。記号やマークは、児童の発達段階に応じて興味関心を引きやすいものとなっている。さらに、理解を助けることができるようなものとするとともに、言葉も添えてそれぞれの内容が分かるようになっている。	
（イ） 教科・種目別の観点	①児童が健康や安全に関する原則や概念に着目できるよう、統計、調査等の資料は、最新のデータを使うなど信頼性があり、児童の発達段階に即しているか。	【3・4年】P.36「初経を経験した時期」「精通を経験した時期」の統計（2017年）を棒グラフで分かりやすく示している。 【5・6年】P28「交通事故の原因」（2020年）※（歩いているとき）（自転車に乗っているとき）P56「死因の内訳」（2020年）P62「喫煙の開始年齢と病気による死亡との関係」などを棒グラフや円グラフを用いて掲載している。	【3・4年】P33「初経や精通をけいけんした年れい」（2018年）などの統計を、男女別・年齢別に棒グラフで分かりやすく示している。 【5・6年】P26「小学生の交通事故の原因」（2021年）、P32「学校でのけが」（2021年）などの棒グラフのほか、P36「犯罪被害の起こる時間帯・場所」（2021年）などを棒グラフや円グラフを用いて掲載している。
	②児童が身近な生活における学習課題を見付けることに役立つよう、イラスト、写真、事例等の資料に、工夫や配慮がなされているか。	②ステップ1「気づく・見つける」で、日常生活が想起でき、児童の興味・関心を引くようなダイナミックな写真やイラストが掲載されており、児童自らが学習課題を見付けやすくなっている。	②単元導入時の写真やイラストが学習内容をイメージしやすいものであり、その次のページ見開きで記載されている学習ゲームは、児童が楽しみながら学習課題を設定できるようになっている。
	③児童が生涯にわたって心身の健康を保持増進する態度を養うよう、学習内容に関連する健康情報等の資料に、工夫や配慮がなされているか。	③各小単元末に、学習内容に関連した資料を掲載（3・4年12項目、5・6年18項目）している。今日的な健康課題（瘦身願望、スマートフォンと健康など）の掲載もある。	③各単元末に、2ページの「もっと知りたい！」があり、学習内容に関連した学びを広げ、深める資料が充実している。

	発行者	株式会社大修館書店	株式会社文教社
	書名	新 小学校保健	新わたしたちの保健
（ア） 教科・種目に共通な観点	①編修の趣旨と工夫	①教育基本法の理念をふまえ、保健における主体的・対話的で深い学びを実現し、生涯にわたって健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現する資質・能力の育成を目指して編修されている。	①教育基本法の理念をふまえ、保健における主体的・対話的で深い学びを実現し、生涯にわたって健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現する資質・能力の育成を目指して編修されている。
	（フ）教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	①基本的な知識・技能は本文で明瞭かつ簡潔に記述し、重要語句はゴシック体で示している。 ②各項目の導入段階に「課題をつかもう」を設定し、保健の見方・考え方を働かせて思考できるようにしている。また、思考したことを記入する頻度やスペースにも配慮がなされている。 ③毎時間の最後に設けた「まとめ 生かそう 伝えよう」では、自分の生活を見直すなどして自己の課題を修正できる活動を適宜設定している。各章末に「学習をふりかえってみよう」を設定し、学んだことを現在や将来の生活に生かすことができるようにしている。	①大切な文章は、キーワードをゴシック体にして文章表記がされていて、必要な知識が明確になっている。 ②單元ごとに「Mission(学習内容)」「Stage(学習活動)」「もう一歩先の自分へ」があり、学習課題に順序性をもたせている。記述するスペースがあり、考えて発表する学習が進められる。 ③各単元の終わりに「わたしの〇〇宣言」のページがあり、学習したことや理解したことをふまえ、より自信をもって、これからの生活や学習に向き合っていけるようになっている。
	（イ）市町の方針との関連 ①小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	①概ね内容をふまえている。 ①【5・6年】P1「喫煙の害」に関する資料として、小田原駅の看板の写真が掲載されている。	①概ね内容をふまえている。
	（ク）内容と構成 ○ 小学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ②他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③言語能力の確実な育成 ④伝統や文化に関する教育の充実 ⑤体験活動の充実 ⑥学校段階間の円滑な接続 ⑦情報活用能力の育成 ⑧児童の学習上の困難さに応じた工夫 ○児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	①3ステップのシンプルな学習過程で構成することで、授業の流れが分かりやすくなり、主体的に学習を進めることができるようにしている。 ②随所に他教科(算数科・理科・家庭科・社会科・道徳など)との関連をマークとともに示し、教科横断的な学習ができるようにしている。 ③「話し合おう」「考えよう」などの活動が取り入れられている。 ④伝統的な運動遊びを紹介することにより、伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛することができるようにしている。 ⑤「心の健康」「けがの防止」等の単元では、デジタルコンテンツを活用した体験活動を通して学ぶことができるようになっている。 ⑦学習に関する様々なデジタルコンテンツを用意している。ウェブサイト調べたり、動画で詳しく学んだりできるように工夫している。 ⑧単語や文節が行をまたがないように改行位置を工夫している。見出しや文章は簡潔かつ的確にまとめ、発達段階に応じてやさしい表現としている。 ○「解説」「まめちしき」などの記載がある。現代的な課題(瘦身願望、スマートフォンと健康など)の記載がある。	①「学習のめあて」と「本時の Menu」を記載し、この時間で学習する目標と見通しをもつことができるようにしている。 ②第5・6学年の教科書には、家庭科の調理実習との関連を示している。 ③「書く」「話し合う」「発表する」などの活動が取り入れられている。 ④「Episode」「もっと知っとこう課」のなかで、体験的な活動を促している。 ⑤最終ページには、「中学生になるみなさんへ」が記載されている。 ⑦二次元コードがあり、調べ学習をしやすくしている。 ⑧イラストだけではなく、実際の写真も活用しており、児童がイメージしやすくなるような工夫がされている。 ○「Episode」コーナーでは、子どもたちへのメッセージや豆知識を記載している。「もっと考えよう課」「もっと知っとこう課」コーナーでは、学習内容に深みをもたせる内容やさらに関心をもてるような情報を記載している。
（エ）分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、児童が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、児童が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	①概ね適切である。 ②A4版【3・4年】49ページ。【5・6年】73ページ。文字のフォントは、視認性と可読性の高いユニバーサルデザインフォントを採用している。カラーユニバーサルデザインに配慮して、色覚特性ごとの色の見え方を検証している。 ③学習当該学年以降に習う漢字に振り仮名を付けている。 ・描かれている人物に多様性があり、インクルーシブの視点が入っている。	①概ね適切である。 ②A4判【3・4年】37ページ。【5・6年】83ページ。カラーユニバーサルデザインを含むユニバーサルデザインに配慮している。1時間の学習が見開き2つ(4ページ)で構成されている。 ③漢字は、6年生で学習する漢字までを使用し(【3・4年】は4年生)、当該学年以降に配当されている漢字のすべてにふりがなをふっている。	
（イ） 教科・種目別の観点	①児童が健康や安全に関する原則や概念に着目できるよう、統計、調査等の資料は、最新のデータを使うなど信頼性があり、児童の発達段階に即しているか。	【3・4年】P33「初経・精通を経験した時期」(日本性教育協会編「若者の性白書」(2019年))は、男女別・年齢別に棒グラフで示している。 【5・6年】P30「小学生の学校生活でのけが」「子どもの交通事故の原因と水の事故」(2020年)、P59「日本人の死亡原因の内訳」(2020年)ではそれぞれ円グラフを掲載している。	【3・4年】P22「身長なのびるようす」「体重のふえるようす」、P26「初経を経験した年れい」や「精通を経験した年れい」(2018年)などの統計は、男女別・年齢別に棒グラフで示している。 【5・6年】P12「5・6年生の不安なやみ」、P28「交通事故」、P32「水の事故」等について円グラフを掲載、P66「喫煙開始年れいと肺がん死亡率の割合」という棒グラフを掲載している。
	②児童が身近な生活における学習課題を見付けることに役立つよう、イラスト、写真、事例等の資料に、工夫や配慮がなされているか。	②1時間の学習のタイトルのページに「きょうの課題」が示されており、何を学ぶ時間かが分かりやすくなっている。	②1時間の学習のタイトルのページに「学習のめあて」や「Mission(学習課題)」が示されており、何を学ぶ時間かが分かりやすい。
	③児童が生涯にわたって心身の健康を保持増進する態度を養うよう、学習内容に関連する健康情報等の資料に、工夫や配慮がなされているか。	③単元の最後に見開き2ページで「もっと学びを広げよう！深めよう！」のページがあり、学習したことを広げたり深めたりできるように、詳しい資料が豊富に掲載されている。	③単元の最後に「もっと考えよう課」のページがあり、学習したことを広げたり深めたりできるように、詳しい資料が豊富に掲載されている。また、各単元の内容に応じた「わたしの〇〇せん言」を学習のまとめとしている。

	発行者	株式会社光文書院	株式会社 Gakken
	書名	小学保健	新・みんなの保健
（ア） 教科・種目に共通な観点	①編修の趣旨と工夫	①教育基本法の理念をふまえ、保健における主体的・対話的で深い学びを実現し、生涯にわたって健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現する資質・能力の育成を目指して編修されている。	①教育基本法の理念をふまえ、保健における主体的・対話的で深い学びを実現し、生涯にわたって健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現する資質・能力の育成を目指して編修されている。
	（フ）教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	①単元のまとめには、選択式の問題があったり、学習を振り返るチェックができたり、その理由を書くスペースがあったりするなど、学んだ知識を確認できるようになっている。 ②各単元に「自分の生活を振り返る」「学習の課題をつかむ」「課題解決に向けて学習活動をする」「学習をまとめる」「自分の生活に生かす」の各ステップがある。資料を基に自分で考えたり、友達と話し合うことで考えを深めたりする学習活動が毎時間設定されている。 ③学習したことを自分の生活にどう生かすかが考えられるよう、毎時間の学習の終わりに「生かそう」が設けられている。	①各単元に学習内容に関する資料が載っており、より学びを広げたり、深めたりすることができるようにしている。また、単元のまとめには、「明日につなぐ」項目もあり、学習したことを生かす工夫もされている。 ②各単元に学習の進め方ステップが示されている。また、考えを書いたり児童の思いを表現したりすることのできるスペースがある。 ③「学びが つながる みらいへ つながる」では、これからどうしていきたいかという、生活につなげるための視点で学習したことをまとめる記述欄が設けられている。
	（イ）市町の方針との関連 ①小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	①概ね内容をふまえている。	①概ね内容をふまえている。
	（ク）内容と構成 ○小学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ②他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③言語能力の確実な育成 ④伝統や文化に関する教育の充実 ⑤体験活動の充実 ⑥学校段階間の円滑な接続 ⑦情報活用能力の育成 ⑧児童の学習上の困難さに応じた工夫 ○児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	①学習の進め方が5つのステップになっており、児童が主体的に課題解決学習できるよう工夫されている。 ②学年や教科が説明とともに示されている。「運動と健康」に関連する内容をコラムや発展的資料の中で複数示されており、充実している。養護教諭や栄養教諭、学校医等が登場する場面があり、学校内外の人材の有効活用がされやすい。 ③「書く」「話し合う」「発表する」などの活動が複数取り入れられている。 ④運動の例を紹介する際に昔遊びを掲示することで、伝統的な遊びの有用性に気づき、伝統や文化を尊重する態度を養えるようにしている。 ⑤「不安や悩みなどの対処」「けがの手当て」では、「やってみよう」の項目があり、体験的な活動を促している。 ⑥発展の中で「保健体育」中学校と示している。 ⑦WEBマークや二次元コードがあり、調べ学習をしやすくしている。 ⑧学習過程が5段階で統一されていて、学習の見通しをもちやすい工夫がされている。 ○学習内容が身近に感じられるような4コマ漫画で単元を導入している。「解説」「科学のとびら」「この人に聞く」「はってん」「まめちしき」などで、専門的な用語を解説したり、学習内容の理解を助ける科学的な資料を記載したりしている。 ○単元内のコーナーや資料ページ「広げよう・深めよう」などで、今日的な課題についての内容について充実を図っている。	①すべての時間を「楽しく取り組める簡単な課題（授業の導入）→学習課題の確認→①→②→③」と順序立てて進めていく構成になっている。 ②「つなぐ」により、カリキュラム・マネジメントを実現しやすくなるよう、他教科との関連が示されている。運動領域との関連は特に分かりやすく、「つなぐ 体育とつなげる」と示されている。運動領域との関連を図り、体育科の目標である健康の保持増進と体力の向上につながるようにしている。 ③予想する、調べる、比べる、話し合う、整理する、ふり返る、自分の考えを書くなどの学習活動が随所に設けられている。 ④日本食や郷土料理が健康面で注目されていることや、医学や保健の分野での世界的な活躍を取り上げている。 ⑤学習したことを家庭や地域で確かめたり調べたりする「おうちで」「ちいさくで」を随所に設けている。 ⑥随所に、中学校〇年の「〇〇」で学習すると示している。 ⑦学びを広げたり深めたりすることに有用なシミュレーションや動画などのデジタル教材を、学習に活用しやすいように適所に掲載している。 ⑧1時間ごとの課題と学習の進め方を分かりやすく工夫している。 ○「かがくの目」「はまけんのはこ」などの記載があり、科学的な資料やことばの説明、関連する情報などが記載されている。 ○「おうちで」「ちいさくで」の記述があり、家庭や地域で取り組める活動が示されている。 ○現代的な課題(SDGs、キャリア教育など)についての記載がある。
（イ）分量・装丁・表記等 ①各内容の分量とその配分は適切であるか。 ②体裁がよく、児童が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。 ③文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、児童が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	①概ね適切である。 ②A4判【3・4年】41ページ。【5・6年】65ページ。文字は読みやすく、間違えにくいユニバーサルデザインフォントを使用している。カラーユニバーサルデザインをふまえた配色になっている。 ③専門用語や当該学年以降に学習する漢字には、その都度ふりがながふってある。 ・描かれている人物に多様性があり、インクルーシブの視点が入っている。	①概ね適切である。 ②A4判【3・4年】49ページ。【5・6年】89ページ。文字は読みやすさに優れたユニバーサルデザイン(UD)フォントを使用している。カラーユニバーサルデザインにも配慮している。1時間の学習が見開き2つ(4ページ)で構成されている。 ③漢字は、6年生で学習する漢字までを使用し(【3・4年】は4年生)、当該学年以降に配当されている漢字のすべてにふりがなをふっている。 ・イラストや図は、男女の性、外国にルーツをもつ子など、固定的なイメージでの表現にならないよう、多様性を尊重したものになっている。	
（イ） 教科・種目別の観点	①児童が健康や安全に関する原則や概念に着目できるよう、統計、調査等の資料は、最新のデータを使うなど信頼性があり、児童の発達段階に即しているか。	【3・4年】P31「初経・精通を経験した時期」(2017年調査)の統計は、男女別・年齢別に分かりやすく示している。 【5・6年】P14「小学校4～6年生のなやみ」、P30「小学生が犯罪被害にあった場所」(2021年)など複数の資料を掲載している。	【3・4年】P22 の「教室の空気のごこれ」の時間による変化を、棒グラフで分かりやすく示している。 【5・6年】P17「小学生のなやみや心配なこと」(2014年)P27「けがの防止」(2020年)※「交通事故」「水の事故」「小学校内での事故」の円グラフを掲載。P59「日本人の死亡原因」(2020年)P68「夫の喫煙と妻の肺がんの危険性」という棒グラフを掲載している。
	②児童が身近な生活における学習課題を見付けることに役立つよう、イラスト、写真、事例等の資料に、工夫や配慮がなされているか。	②各巻の最初に、児童が保健を学ぶことの大切さに気づく6コマ漫画が示されている。また、単元ごとの導入のページに、児童の生活との関連があり共感できる内容の4コマ漫画が示されている。	②1時間の学習のタイトルのページに「学習の課題」が示されており、何を学ぶ時間かが分かりやすい。
	③児童が生涯にわたって心身の健康を保持増進する態度を養うよう、学習内容に関連する健康情報等の資料に、工夫や配慮がなされているか。	③資料ページ「さらに広げよう 深めよう」が学習の単元ごとにあり、豊富な資料が掲載してある。資料ページが本文のどこに関連しているかが記載してある。 ウェブで、学習内容をさらに詳しく調べたい時のためにサイトを紹介している。 ③口絵に、トップアスリート・パラアスリートが「わたしと健康」というテーマのメッセージを掲載している。	③単元の最後に見開き2ページで「もっと知りたい 調べたい」のページがあり、学習したことを広げたり深めたりできるように、詳しい資料が豊富に掲載されている。